
無限の夏休み

時流 幌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無限の夏休み

【Nコード】

N2700Q

【作者名】

時流 幌

【あらすじ】

夏休みが無限に続けばいいと思ったことはありませんか？

理由はさまざまです。宿題・遊び・思い出etc・・・

この物語は、そんな願いを持った少年の物語です。

果たして、人間に愚かしくない者がいるのだろうか？

8月31日。それは、宿題に追われた者たちの
正念場。又は地獄。又は――

8月31日、午後5時。夏休みも残す所7時間となった。

太陽は沈みかけていたが、外からはいまだに蒸し暑い空気が流れて
きていた。

そんなときに少年は、クソ暑い部屋に籠って宿題をやっていた。

「残るのは、”数学ドリル”と図工の絵と、”漢字プリント”と・
・！！

”自由研究”！？そんなの見てないぞ？」

そうぶつぶつと独り言を言いながら、宿題の残りを確認していた。

手提げの中を漁ると、奥からグシャグシャになった自由研究の用紙
があった。

近くにあった椅子に座り、絶望に打ちひしがれるがいつの間にか手
には漫画本が・・・

いかん！直後に思い直して漫画を本棚に戻す。

この少年、夏休み後半は、こうして宿題に手を付けては漫画。

そしてそのまま・・・というだらけた毎日を過ごしていた。

つまるところこの少年には集中力がなかったのだ。まるつきり。

・・・夏休み前半には宿題に手を付けてさえいなかったのだが。

「まず、”算数のドリル”からかそれとも ”自由研究” が先か・
・・」

がつくりうなだれる少年。悩んでいる合間に1問でもやればいいの
だが。

そうこうしている内に、あつという間に晩御飯の時間。
部屋に帰ってきた少年は気づいた。もう宿題完全達成は不可だとい
う事に。
コンプリート

「あゝあゝ宿題消えないかなゝ」

そう言いながら、少年は溜息をついた。

しかし、魔法が有るわけでもないのに、宿題は消えない。

否。宿題が消えるといっている少年は、既に宿題は進める
ものだということを忘れている。そこが、少年の悪いところだった。

「夏休みがもう一回あればなあゝ」

という少年。断言するが、こういうことを言う者は絶対に達成でき
ない。

・・・よろしいそれを思い知らせてやろう!!

じつは私、ここから576年後の人間で、過去の人間の質向上を目
的とした組織の

人間だ。この夏休み中ずっとこの少年を観察していたが、実に愚か
しい。

悔い改めさせてやる。

彼のこの時代での隠れ家は、光学迷彩によって守られていた。

機械を操作し、この世界の時間を1ヶ月ほど遡らせた。

もちろん自分は除いて。一回時間を空転させた後に、その分の記録を
少年に見せてやるつもりだったのだ。

しかし、576年後の人間もミスはするようで、ボタンの操作を
間違えた。

それは、時間の逆行に自分を含めないという設定で、まちがえて自
分を含める
にしてしまったのだ。

それに気付かずに、発動ボタンを押してしまった。未来人。
当然自分の意識も、逆行し・・・

8月1日午後5時。

突如、住宅街上空の空に、何かが飛来した。

「ふむここが私の新しい勤務時か・・・」

未来人は、ある少年の家を見つけた。

その少年は、集中力がない少年だった。

8月31日夜。

やはり又、世界の時間は逆行した。

(後書き)

感想なども出来ればお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2700q/>

無限の夏休み

2011年1月26日01時42分発行